

平成21年 4月 16日現在

研究種目：基盤研究 C

研究期間：2006. 4～2010. 3

課題番号：18530237

研究課題名（和文） 金融機関の総合的な社会的責任に関する計量経済分析

研究課題名（英文） Econometric Analysis of the Comprehensive Social Responsibility of Financial Intermediaries

研究代表者

内田 滋 (Shigeru Uchida)

長崎大学・経済学部・教授

研究者番号：40168696

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・ 財政学・金融論

キーワード：金融機関、CSR(社会的責任)、地域社会、企業行動、企業統治

1. 研究計画の概要

わが国金融機関を主要対象に、市場競争・地域金融・企業成果・ステークホルダー対応戦略など T C S R（総合的な企業の社会的責任）問題について計量経済分析をおこなう。

2. 研究の進捗状況

（1）文献サーベイとアンケート調査は概ね終了し、事業会社および金融機関における C S R（社会的責任）のケースに関して、補完的追加的な先行研究および文献研究をおこなっている。

（2）地方銀行・第二地方銀行、信用金庫および信用組合の各機関に対しておこなった C S R に関する実態把握のためのアンケート調査を終了し、データ分析をおこなっているところである。

（3）それらと並行して、定性分析に資するねらいでケーススタディとしてのヒアリング調査をおこなっており順調に推移している。

（4）地域社会から付託された金融機関の基本的役割として、融資等の事業活動にもとづく顧客企業との取引関係について、中小企業金融に関する計量分析を含む分析・考察を

おこない、国際比較分析をおこなった。

（5）中小企業金融および地域金融機関行動等に関する分析成果を参考にしながら、市場競争等に関する分析に入っており現在進行中である。

3. 現在までの達成度

①おおむね順調に進展している。

アンケート調査およびヒアリング調査がおおむね順調に推移したこと等によるが、今後必要に応じて若干の補完的な調査をおこなうとともにデータ分析を継続しておこなう予定である。

4. 今後の研究の推進方策

調査データに基づく計量経済分析の継続実施とそれらの成果を論文としてまとめるとともに、諸学会・研究会での発表をおこなう予定である。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 5 件）

(1) S.W. Ahmed and S. Uchida, (2009) Corporate Social Responsibility and Financial Performance Linkage : A Preliminary Study to Draw the Conceptual Framework, *Annual Review of Southeast Asian Studies*, (non-refereed), 25, pp. 43-51

- (2) S.W. Ahmed and S. Uchida, (2009) The Role of Relationship Banking on the Performance of Firms in Bangladesh, *Advances in Development Economics*, D. R. Basu ed. , World Publishing Co. , Ltd. pp. 125-152
- (3) Uchida, S. and S.W. Ahmed, (2008) Impact of Relationship Banking on Small and Medium Enterprises in Japan, *Theoretical and Empirical Research on Financial Markets and Accounting Systems in East Asia*, Vol. 3, pp. 1-14
- (4) Habib, S. M. A, S.W. Ahmed and S. Uchida, (2007) Environmental and Social Responsibilities of Banks: Global Perspective, *Journal of Business and Economics*, (non-refereed), 86-2, pp. 69-87
- (5) S. U. Ahmed and S. Uchida, (2007) Corporate Social Responsibility: Benefit, Current Status and Future Trend, *Journal of Business and Economics*, (non-refereed), Vol. 86, No. 3, pp. 169-178

〔学会発表〕（計 2 件）

(1) S. Uchida and S.W. Ahmed, Impact of Relationship Banking in East Asian Economies: Lessons for Developing Countries, The Fourth East Asia Finance and Accounting Conference, December 12, 2008, Museum Hall of Nagasaki Prefecture

(2) S.W. Ahmed and S. Uchida, Impact of Relationship Banking on Small and Medium Enterprises in Japan, *The Third East Asia Finance and Accounting Conference*, Nagasaki University, December 7, 2007

〔図書〕（計 0 件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

○取得状況（計 0 件）

〔その他〕